

須崎市総合計画 及び 第3期 須崎市総合戦略

概要版



- 今後10年間で須崎市が目指す姿 -

『未来へひろがる“元気創造”と“協働”のまち』

- まちづくりの指針 -

1.安心して暮らせるまちをつくる

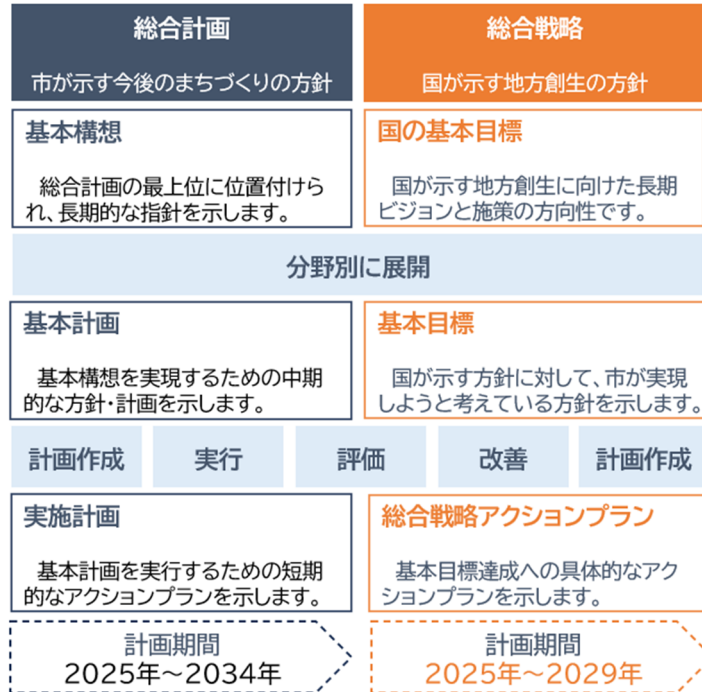
いつまでも住み続けたいと思えるよう、ライフイベントを充実して送れるための施策を各分野で積極的に実施します。

2.つながりを広げる

人口減少局面にあっても、関わりのある人・つながりのある人(交流人口/関係人口)を積極的に増やす施策を実施します。

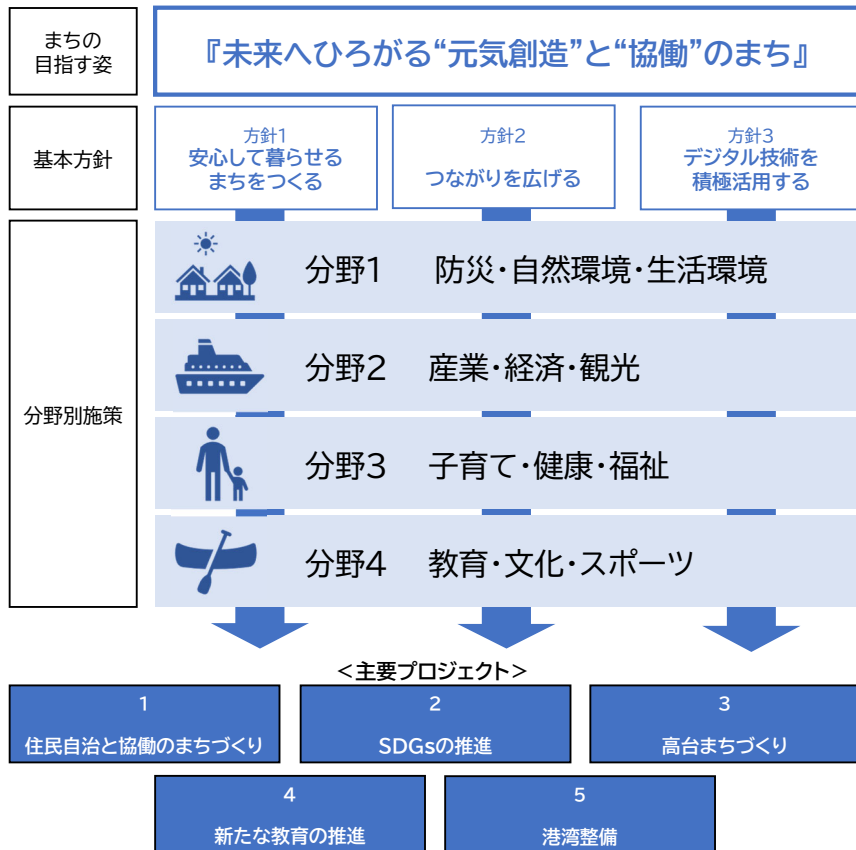
3.デジタル技術を積極活用する

限られた経営資源で最大限の効果を発揮できるよう、デジタル技術を積極的に活用した行政運営を実現します。



- ✓ 総合計画は、市が示す今後のまちづくりの方針であるのに対し、総合戦略は国が示す地方創成の方針になります。
- ✓ 総合計画と総合戦略の一体的・効率的な運用を図るため、これまでの「須崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を見直し、新たな総合計画の内容を踏まえた、「須崎市総合戦略」(以下、総合戦略)をあわせて策定します。
- ✓ 総合戦略は、まち・ひと・しごと創生法に基づき、須崎市総合計画で示した基本計画の中から関連する施策を抽出して構成します。

<総合計画の構成>



<主要プロジェクトの内容>

1 住民自治と協働のまちづくり

地域自主組織及び集落活動センターによる地域活動や自主防災組織による防災活動の取組を支援するなど、引き続き須崎市自治基本条例に基づく市民自治の確立と協働によるまちづくりを進めます。



2 SDGsの推進

持続可能な須崎市を目指して、災害に備えた安心安全なまちづくりを行うとともに、清流新荘川の保全やカーボンニュートラルの推進、医療・福祉・教育環境の充実を図るなど、各基本施策においてSDGsの取組を進化させます。



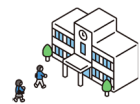
3 高台まちづくり

事前復興まちづくり、人口減少対策等の観点から、高台整備事業に取り組みます。整備対象施設等に応じて事業規模を分類し、早期に高台団地の開発を行います。将来的には高台まちづくりを目指します。



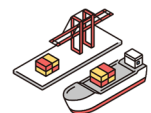
4 新たな教育の推進

須崎市小中学校統合計画に基づき、令和8年度より中学校を5校から2校に統合します。小学校については、中学校統合の3年後を目標とし、8校から5校に統合します。また、新たに策定した須崎市教育変革ビジョンに基づき、新しい学び「Make “IT” Fun」にチャレンジします。



5 港湾整備

須崎港港湾計画に基づき、国・県等と連携して港湾及び防災拠点機能の強化を図ります。あわせて、海のまちプロジェクトなどの地域振興の取組により、「みなとまち」の利点を活かした賑わい・交流機能の充実も図ります。



(1)

安心して暮らせるまちをつくるための取組

- 地震津波対策
- 下水道事業
- 自然災害への備え
- 公園の整備
- 地域による消防活動
- リサイクル型社会の整備
- 防犯・交通安全対策
- 自然環境の保全
- 都市機能の高台整備
- 公営住宅の整備
- 住宅地の高台整備
- 住民自治の推進・行政との関係
- 上水道事業
- 空き家対策

分野1
防災・自然環境・
生活環境

(2)

つながるをつくるための取組

- 移住定住の促進
- コンパクトシティ構想
- 多文化共生
- 広域避難対策の推進

分野2
産業・経済・観光

- 港湾の整備と活用の促進
- 農林水産業の振興
- 再生可能エネルギーの推進
- 集落活性化の取組

- 雇用の創出・確保
- 地域の元気創造の取組
- 商工業の振興
- 海のまちプロジェクトの推進
- 観光事業の推進と宿泊確保対策
- 釣りバカシティプロジェクトの推進
- 須崎市プロモーション活動の推進

分野3
子育て・健康・福祉

- 子育て環境の充実
- 健康寿命の延伸
- 障害福祉の推進
- 自立支援、介護予防の推進

- 医療体制の充実
- 介護事業の推進

分野4
教育・文化・
スポーツ

- 人権を尊重し、あらゆる差別をなくす社会づくり
- 学校教育の推進と充実
- 教育環境の整備・充実

- 社会教育、生涯学習の推進
- 文化財・地域文化の伝承、保存
- スポーツの推進

(3)

デジタル技術を積極活用する取組

- 情報化の推進
- 道路網の整備と保守管理
- 公共交通と移動手段の確保

地域ポイント

情報化の推進

青少年が健全に育成できる
環境づくり

情報化の推進

これまでの「須崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を見直し、新たな総合計画の内容を踏まえた、「須崎市総合戦略」をあわせて策定します。

基本目標1

豊かな自然と独創的なアイデアによる産業を創出する

港湾整備や『釣りバカシティブロジェクト』をはじめとする特色ある取組を推進し、農林水産業や商工業の振興を通じて地域資源を活用した新たな産業を創出し、持続可能な雇用の拡大と地域経済の活性化を図ります。

指標名	単位	基準値 (令和5年度)	目標値 (令和11年度)
農林水産業新規就業者(累計)	人	38 (令和2年度～令和5年度)	50
起業数(累計)	件	—	10
企業誘致数(累計)	件	—	2
新規雇用数(累計)	人	—	10

基本目標2

須崎市発の人のネットワークをつくる

観光・スポーツ・移住・多文化共生の各分野において須崎市の魅力を最大限にいかし、新たな人の流れを生み出すとともに、地域内外からの多様な人々がつながり、交流し、共に活躍できる持続可能な地域社会の実現を目指します。

指標名	単位	基準値 (令和5年度)	目標値 (令和11年度)
人口の社会増減数	人	-132	-90
市内観光入込客数	人	400,547	441,900

基本目標3

若い世代の結婚・出産・子育て・教育の希望を叶える

新たな図書館等複合施設の整備と活用により、生涯学び続ける環境を提供するとともに、教育変革ビジョンに基づき、新しい学びの形を支援します。適正規模の学校運営やICT教育の推進により、質の高い教育環境を整備し、子どもたちが自ら未来を創造する力を育むとともに、教職員の働き方改革を進めます。また、子育て環境を充実させ、安心して子育てができる支援体制の構築等を通じて、多様な家庭が住みやすい地域づくりを目指します。

指標名	単位	基準値 (令和5年度)	目標値 (令和11年度)
合計特殊出生率	人	1.38	1.52

基本目標4

人々の生活を守るサステナブルなまちをつくる

自然環境の保全と生活環境の向上を両立させ、医療・介護体制の充実を図りながら、住民自治を基本とした持続可能な地域社会を構築し、すべての人が安心して暮らし続けられるまちを目指します。

指標名	単位	基準値 (令和5年度)	目標値 (令和11年度)
住宅地・都市機能の高台整備力所数	力所	—	3
須崎駅・大間駅・多ノ郷駅周辺地区の人口密度	人/ha	47.7 (平成30年度)	43.9 (令和10年度)
CO2排出量	1000t-CO2	200 (平成25年度)	110
新たな自主組織の設立(累計)	件	3	5